



Ferris University

2014 No.12

フェリス女学院大学同窓会会報



カイパー記念講堂

《聖句》

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。」

ヨハネによる福音書 第15章16節

爽やかなエピソード

理事長 奥田 義孝



もう40年近く前のことになりましたが、当時銀行員であった私がロンドンの支店に勤務していた頃のことです。私が担当していた部署に一人の日本人女性(以下Aさん)が採用されてきました。その頃の英国では外国人が労働許可を取得することは容易でなくAさんは英国人の家庭で、オペアと呼ばれていた住み込みの家事手伝いをしながら、就職先を探していたのです。彼女が採用されてから1週間ほどしたある朝、英国人男性から電話がかかってきました。そして「お宅に勤めているAさんは昨夜交通事故で意識不明の重傷を負い、救急病院で開頭手術を受けた、従って今日から欠勤する」というのです。当時は採用後1か月の試用期間が設けられ、雇用者は本人の働きぶりを見た上で自由に解雇することが出来ました。就職後1週間で欠勤すれば、即時解雇でも何ら問題はなかったのです。しかし、とにかく様子を見てみようということになり、私が病院に行ってみると、病室の前に初老の英国人夫妻が目を見つ赤

にして立っていました。Aさんは前後運く最終バスに飛び乗ろうとして転落し、頭を強打して救急病院に運ばれたというのです。彼らはAさんがオペアをしていた家の夫妻で、Aさんは既に転居し独立していました。手帳にあった電話番号に病院が電話してきたため、深夜病院に駆けつけ、徹夜で付き添っていたのです。私は「自分たちはAさんとはもう縁がなくなっている。同じ日本人だし、後は勤務先でもあるそちらで面倒をみてくれ」と云われるのではないかと内心思っていました。しかし、その夫妻は「Aさんが退院し、体力を回復して帰国出来るまで、われわれが自宅に引き取って世話をするから、どうか安心してくれ」、「何の責任もない銀行の上司がこうやって来てくれるとは彼女はなんと幸せなのだろう!」というのです。私は感銘を受けるとともに、卑小な内心の思いに恥じ入りました。当時の英国は、英国病と揶揄され、ポンドも下落の一途を辿っていました。ごく普通の市民であるこの夫妻の姿に接して、改めてキリスト教国である英国の底力を知られる思いでした。勿論、英国人の全てが同じである筈ではありませんが、「For Others」を教育理念とするフェリス女学院に関わるようになって、善いサマリア人のたとえとともに、時折懐かしと思いつく爽やかなエピソードの一つです。

山手二号館と家政科の教育

学院長 大塩 武



同窓生の皆様に挨拶の機会を与えられたこと、ありがたくお礼を申し上げます。いま中学校・高等学校ではキャンパスの再開が進行中です。間もなく新しい体育館が竣工し、二号館の立て直し工事もすでに着手されています。

フェリス女学院大学の前身であるフェリス女学院短期大学は、戦後の発足当時、中学校・高等学校と校舎を共有していましたが、一九五七年に短大家政科専用の校舎「一号館」が落成しました。この「一号館は、旧号館と並んで建ち、外壁も同じく鉄平石で覆われた趣のある建物でした。短大家政科がフェリスにおける任を終えた後、二号館は中学校・高等学校の教育のために用いられていましたが、老朽化の問題も燃えることながら、そもそも短大家政科の教育目的に適うように設計されたという事情もあり、中学校・高等学校の教育のために建て直すことになりました。

入学式と卒業式は山手のカイバール記念講堂でおこなわれましたから、一号館と二号館からなる山手校舎の雰囲気を感じて、大学卒業生の皆さんも少なくは、はずです。二号館が建てられた頃に家政科に在籍した「りべる」の皆様からは、次のような思い出をお聞きしたことがあります。二号館が完成した頃は、まだ根岸線が開通していなかったため、桜木町から乗った市電を元町で降りて、急な階段を登り、通用門をくぐると、何処となくお洒落な雰囲気を感じ、やがて右手に二号館が見え、左手の短大音楽科の建物からピアノの音が聞こえてきました。フェリスの短大家政科の教育は、高校までの形にはめこむようなそれと異なり、個人の個性を尊重して、よじろを大切に育ててくれたこと。そうすると、悪いところが何処かに引込んでしまい、学生たちは、生きることに自信を持つようになったこと。そして何よりも、フェリスが好きという思いが教員と学生によって共有されていることを日々実感できたことです。

時代の流れとはいいいながら、家政科の廃止は残念なことではありました。しかし、その後フェリスに想いを寄せていただき、フェリスの名の下に、様々な奉仕活動をおこない、現在のフェリス女学院大学のために尽くしてくださっている「りべる」の皆様には、改めて敬意を表し、感謝の気持ちを記させていただきます。

「フェリス女学院維持協力会」は、一九九五年に設立され、以来、同窓会、卒業生の皆さまから多大なるご支援をいただいております。心より感謝申し上げます。

二〇一三年度末までに五億三二〇〇万円のご寄付が維持協力会に寄せられ、そこから四億三二〇〇万円が校舎整備のために使われました。大学部会では、緑園キャンパスの図書館棟や体育館の新築工事資金の一部として、また、山手キャンパス八号館の耐震・改修工事の資金に活用させていただきます。現在、二〇二〇年の学院創立一五〇周年に向けて、グラウンドデザインの策定を行っており、校舎の整備についても検討していく予定です。

大学のさらなる発展、教育・学習環境の整備、拡充を図るため、維持協力会へのご協力を通じてお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

●ご寄付の方法

原則として一口一万円としていますが、金額にかかわらずお受けいたします。専用の振込用紙で、最寄りの郵便局・金融機関よりお振り込みください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。継続的にご寄付をくださる方には、ご指定の銀行口座からの自動振替制度もご利用可能

学長挨拶

学長 秋岡 陽



フェリス女学院の建学の精神は「キリスト教信仰に基づく女子教育」、教育理念は「For Others」です。と書く「誰しも知っています」と言われそうですが、このように学校の目指すものや、学校が大切にしている理念が百年以上も変わらずに継承され、しかもそれを誰もが知っているというのは、実は素晴らしいことなのです。

今、日本中で大学改革ということが言われています。少子高齢化・グローバル化がすすみ、社会が大きく変化するなか、旧態依然のままでは日本の大学は立ち行かなくなる。国は全国の大学に各学校の「ミッション」を明確にせよと言ふようになりました。何のために存在する学校なのか明確にしない、というのは、似たり寄つたりの大学がたくさんあっても仕方ない。しかし本学は何も慌てる必要はありません。そもそも「ミッションありき」の学校なのですから。大規模総合大学がスケール・メリットを活かした改革を進めるなか、本学の

ような小規模大学では、「建学の精神」や「教育理念」をさらに明確にすることで他大学との差別化をはかることが大切です。また特色ある教育を実践することで独自の役割とポジションを確立できます。本学における大学改革は、おのずと「キリスト教」「女子教育」「For Others」というフェリスの原点を見つめ直す作業になります。

しかし、「キリスト教」「女子教育」「For Others」をただ「題目」として論じるのではなく、具体的な実践と結びつけ、その良さや意義を内外にアピールできなくてはなりません。大学では昨年からは「3-6 PLAN」という中期計画を立て、建学の精神と教育理念を具体化する取り組みを積極的に展開しています。大学の基本方針の再確認に加え、各学部ではカリキュラムのヴァージョン・アップが行われました。文学部では学科名称を変更し（日本文学科↓日本語日本文学科、英文学科↓英語英米文学科）、教育内容もより時代に即したものに。音楽学部では、演奏学科の定員を2名に減らし、教育内容も一新。国際交流学部ではプログラム制を新規導入し、カリキュラムの全面的見直しを行いました。伝統を大切にしつつ、しかしつねに「新しい時代を切り拓く」フェリス女学院大学でありたいと思います。

中島省吾先生を偲んで

前学院院长 岡野 昌雄

卒寿を過ぎても中島省吾先生はお元気で、伊東にお住まいでしたが、時々国立教会の礼拝にもお見えでした。昨年のアドヴェントに入つて間もない日曜日にもお会いしたばかりでしたので、突然の訃報にはただ驚くばかりでした。少しお疲れの様子に見えましたが、それが最後になるとは思いませんでした。

わたしが母校の国際基督教大学に赴任して間もなく、全国の大学で全共闘運動が盛りになりました。教授会でも若輩のわたしは学生たちに近く造反教師と言われましたが、中島先生は大学の重鎮ともいへば存在で、意見は対立することもありましたが、わたしは若手教員にとっても信頼できる先輩教授でした。学長代行として学生たちとの同交に望まれた際も、誠実に、しかも毅然として対応されたので、彼らからも尊敬されていました。

やがてフェリスの学院院长になるために退職されたので、先生とお会ふする機会はなくなりましたが、わたしが国立教会に転会したことで、今度は教会でお会いすることになりました。先生は弓削達先生と共に国立教会設立時の中心メンバーであり、牧師や教会員の皆から敬愛されていました。わたしも信仰の大先輩という関係でのお付き合いで、仕事の話をすることはありませんでした。その後、不思議な縁でわたしが学院院长として招かれ、理事長である先生とフェリスで一緒に仕事をすることになり、それまで長い間フェリスのために学院院长、理事長としての責任を果たしてこられた先生のご苦勞を知りました。使命感・正義感が強く、何事にも誠実に向き合うお人柄は、何よりも先生が愛されたフェリス女学院にとって大きな支えであったと思います。

先生はなかなかシャイで、また情の細やかな方でした。それは特に晩年にはマリ夫人に向けられていました。脳梗塞で倒られた夫人を本当に大事に介護された病院、リハビリセンター、老人ホームと変わっても、「二人でいるのが不慣れ」とおっしゃって、毎日見舞われていました。「大変です」と申し上げたら、照れたように、「少し甘やかすすぎたかな。でも僕が行かないと寂しいから」と言われた時の笑顔を思い出します。ご家族ばかりでなく、フェリスに関わる人たちが先生のやさしさに包まれていた幸いだと思います。



● 会員登録
です。ご希望の方は、担当までお問い合わせください。

● 会員登録
寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。

● 入会後、会員の皆さまには、年に一回、個別の寄付金累計額を記載した「入金明細」を送付させていただきます。また、フェリス女学院維持協力会たより『緑の丘の上で』をお送りして、維持協力会の寄付金使用状況報告をいたします。

● 寄付金総額が二五万円に達した方は、終身会員として登録いたします。終身会員の皆さまには校歌CDを差し上げ、その後も引き続き年に二回、フェリス女学院広報『ALL FERRIS』を毎月お届けし、学院の近況をお伝えいたします。

● 寄付金控除
維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金として優遇措置が受けられます。確定申告のための必要書類は、学院からお送りいたします。

● 免税制上の優遇措置を利用される場合は、確定申告者ご本人様名義の「振替払込請求書兼」受領証「か」領収証が必要となります。領収証の再発行が必要な場合は、お問い合わせください。

● お問い合わせ・資料請求先
フェリス女学院本部事務局 総務課
電話 〇四五・一六六・二四五一
E-mail hounmu@ferris.ac.jp

りてら・りべるて・Fグループ合同総会

2014年6月14日・カイパー記念講堂にて



第11回合同総会は、梅雨の晴れ間の山手カイパー記念講堂に約200名の出席を得て、開催されました。

開会にあたり、同窓会を代表してFグループ熊本会長より、りてら小澤会長、りべるて金子会長の紹介と、3同窓会の活動に対して皆様方より寄せられたご理解、ご協力への謝辞が述べられました。

礼拝は、奥田義孝学院理事長、奏樂は、中川葉音さんにお願いしました。奥田先生は、ヨハネによる福音書第15章12節、17節を朗読され、「For Othersの原点」と題してお話をされました。先生は、自分で選択していない生まれながらのクリスチャンで、それはミッションスクールの卒業生にも通じるところがある。ある方の葬儀に参列してそこに集まった方々が故人に等しく愛を注がれていたと感じていたことは、2000年前の主イエスキリストに通じる神の究極の愛である。「For Others」について、昨今、「We do something for Others」社会貢献の意味で捉えられることが多々あるが、改めて、原点にある、互いに愛し合うこと、私たち一人ひとりの間に自立した人格の育成をもって神と人の前に立つことを意識するのではないとでは大きな違



いがある、とのお話をされました。

ご来賓としてご臨席いただきました大塩学院長より、日頃の同窓会活動への感謝のお言葉と、2号館建て替え工事に關して、教室として使用していた同窓生に温かいお言葉をいただきました。

次に、Fグループの川崎香織さんによる独唱、『主よ、感謝します』を、パイオルガンの伴奏でお聞きしました。心に響く美しいお声がかいパー記念講堂をやさしく包み、皆様聴き入っていました。

懐かしい校歌を歌い、記念撮影をしてカイパー記念講堂を後に、それぞれの会場に向かいました。

来年は6月13日(土)、山手で開催する予定です。皆様お誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。



りてら同窓生のつどい

6月14日(土)、8号館アートサロンにて、りてら同窓生のつどいが開かれました。夏を思わせるような一日でしたが、2号館の工事中にもかかわらず、カイパー記念講堂での合同総会から、たくさんの方々にお集まりいただきました。

60名余りの出席者をお迎えした同窓生のつどいは、まず、小澤会長よりご報告がありました。現在、学納金とは別途扱いのため振込みが激減している終身会費を、来年度新生より、4年生の後期授業料と一緒に納入いただけるようになったこと、6月より、山手りてら同窓会室が開室となったこと、の2点です。その後、ご臨席を賜った、奥田理事長、秋岡学長、荒井副学長、谷文学部長、大野国際交流学部長、立神音楽学部長、星野学院本部事務局より、フェリスについての様々なお話を伺いました。特に、会場となったアートサロンのある8号館取得にまつわる奥田理事長のお話には、一同喝采となりました。

美味しいお弁当を頂いたあとには、世代を超えて和やかに語り合う同窓生の輪が幾重にも広がり、何名かの方々から近況のご報告をいただきました。63年前の家庭教師の先生とその教え子が、つどいの会場で邂逅し、思わず抱き合うというハプニングもあり、りてらに集うたくさんの方々の思いに触れる一日でもありました。来年も、たくさんの方々のご参加をお待ち申し上げます。



(報告 森由美・83)

第25回 りてら総会

梅雨の晴れ間の6月14日(土)、カイパー記念講堂に於て合同総会を行い、家政科記念館にて、秋岡陽学長、円谷幸輝大学事務部長、太田素子総務課長のご臨席のもと、りてら総会が開催されました。会長挨拶に続き、出席者、委任状合計により総会成立が報告され議事に移行しました。2013年度活動報告、決算報告、会計監査報告、2014年度活動計画案、予算案が審議・承認され、りてら奨学金の目録が秋岡陽学長に贈呈されました。

秋岡学長より、大学改革のグランドデザインの考え方について、具体的には、フェリス女学院らしさである3つの理念を挙げられ、①キリスト教に基づいた教育、②女子教育、③Fur Oursと原点回帰をより強く表現していく事をお話くださいました。

また、りてら奨学金贈呈に対するお礼の言葉と共に、フェリス女学院は心ある多くの方々からの寄付金による助力で創立されたとお話も交え、学院維持協力会への同窓生の協力をお願いになりました。懇親会では、奥田義孝理事長、谷知子文学部長、大野英二郎国際交流学部長もおみえになりました。

また、ご出席の皆様も学年を超え和やかに歓談され、同窓会のお手伝いをして下さるとのお申し出もありました。

どうぞ来年も是非山手の丘へお越しください。(報告 三藤裕子・D54)



Fグループ総会

6月14日、カイパー記念講堂で行われた合同総会では、幅広い卒業回の皆様と講堂全体に響き渡るオルガンの調べの中で共に礼拝を守り、卒業生の献唱があり、最後に全員で校歌を歌いました。続いてフェリスホールにてFグループ総会を開催いたしました。

熊本会長の挨拶に始まり、秋岡学長から創立以来続く『キリスト教信仰・女子教育・Fur Ours』の精神を今後も守っていくことそして奥田理事長、荒井副学長、立神音楽学部長、星野事務局長からも貴重なお話をいただきました。

議事では13年度会計報告、会計監査報告、14年度予算案、13年度活動報告、14年度活動予定がそれぞれ承認されました。その後、新卒業生二名によるフルート、ピアノのフレッシュな演奏が披露されました。

本年度もジョイントコンサート・研修会・音楽学部のための募金コンサートを秋に、新しい試みとしてFグループ会員の生徒さんによる合同発表会を春に開催予定です。

音楽学部としてFグループの最新情報はホームページのFace bookでお知らせしておりますので、皆様是非ご覧ください。



(報告 安藤美保・44回)

二〇一三年度学位授与式

- 同窓会では、今年、
- 文学部 288名
 - 国際交流学部 210名
 - 音楽学部 92名
- の卒業生をお迎えすることができました。



同窓会のグッズ販売

今初めての試みとして、3月20日の学位授与式と、4月1日の入学式で、同窓会コーナーを設けていただきました。

りてらは、校章入りのペン、サブバック、ファイル、アクセサリー等を、また、Fグループは、音楽会のご案内、書籍・CD等を用意しました。一方、りてらでは、校章入り三笠山、カドケース、ファイル、ペンケース等を用意しました。

学生、保護者の皆様には、事前に大学事務局が書面でご案内して下さったので、多くの方々がお立ち寄りくださいました。特に保護者の方々には好評でした。短い時間ではあり

ましたが、同窓会を身近に感じていただけたのではなかったかと思っております。大学側のご配慮に改めて感謝申し上げます。



りてら会員の皆さま

会長 小澤 美智子(70)



皆さま、お健やかに過ごしてのことと存じます。いつもりてらの活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

今年度新たに490余名の新会員を迎え、りてらは会員総数17554名となりました。

昨年掲げました活動目標の一つ目、「学

年幹事会の見直しと活性化」については、幹事会欠席が続く幹事の方々にお便りを差し上げ、ご事情によっては幹事交代のお願いをいたしました。

五月に開催された第一回学年幹事会に於いて承認されましたので、今回りてら全会員に会報と共に学年幹事一覧表を同封いたしました。

幹事がいらっしやらない学年が空欄になっております。該当の学年の会員で、幹事をお引き受けくださる方がいらっしやいましたら是非同窓会室までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

大学祭実行委員会

委員長 大石 梨加(英文3年)

中で開催されています。同窓生の繋がりはフェリスらしさの繋がりののではないかと

思います。イベントをご紹介しております。皆さまのご参加をお待ちしております。嬉しいご報告をいたします。

かねてより山手でのりてらの活動場所を大学側にお願ひしておりました。この度、山手六号館第一別館(一階にカフェテラス・フェリス)の二階のお部屋をお借りすることができるようになりましたことを、感謝をもって報告いたします。

三同窓会合同制作の会報作業や、山手での四同窓会連絡会議並びに大学同窓会議、役員会など、有意義に使わせていただけます。

六号館第一別館の改修工事も終わり、六月よりカフェテラス・フェリスもリニューアルオープンいたしました。外壁は昭和初期の色に復元されております。

懐かしい大学跡地37番地のご案内もできますので、どうぞクラス会等にご利用くださいませ。

最後にお願ひがございます。皆さまの住所は同窓会が一括管理しております。住所不明になりますと、同窓会からの情報初め大学からのお知らせもお届けできなくなり、お繋がりも途絶えてしまいました。転居や地番変更等ございましたらホームページ・FAXにて同窓会室までお知らせくださいますようお願いいたします。

同窓会の皆さま、いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠に有難うございます。

来る2014年11月2日(日)3日(月)、大学祭を緑園キャンパスで開催いたします。

今年度のテーマは「With a wrinkle in our story」共に輝くこと。これは、私たち実行委員会自体の活動だけでなく、ご来場者や大学祭に関わる全ての方々が、フェリス生と共に目を輝かせて参加できる大学祭にしたいと願ひ決定いたしました。大学祭は、出会ったお客様と私達フェリス生が、身近に触れ合うことのできる貴重な機会だと思ひ、最高のFest. Festival 2014となるよう、日々準備に努めております。

同窓会りてら様には、毎年ご出店頂き、ま

ハンドベル・クワイア
代表 鹿野 友梨奈(日文3年)

「ハンドベルは、17世紀頃イギリスで生まれました。最初は、教会の塔のベルを演奏する人たちの練習楽器として使われたものですが、のちに演奏のための楽器として認められるようになりまし

た。一人がいくつかの音を担当し、数人が一緒に演奏して、ひとつの曲を作り上げます。

私たちハンドベル・クワイアは、大学の礼拝での奉仕を中心に活動しています。宗教センターに現在所属している団体の中では、一番歴史の長いグループです。

た多くの卒業生の方々の様々なご支援により、大学祭も毎年良いものへと発展しております。実行委員一同、厚く御礼申し上げますと共に、ご来場を心よりお待ちしております。

また、元実行委員の先輩方、ぜひ同期を

過ごした皆様でお越し頂き、赤いウィンドブレイカーを着たスタッフにお声掛け下さい、そして励まして頂ければ、なにより幸いです。

今後ともご支援、ご指導をよろしくお願ひいたします。

が、一人が受け持つ音の数を増やすなどの練習を重ね、工夫して様々な曲に挑戦しています。楽譜に慣れていないメンバーもいますが、呼吸を合わせ二つの曲を作り上げられることが、この楽器の魅力です。曲は、教会の暦や演奏の場に

合わせて、相談して選びます。

最近では校内活動の他に、福祉施設や病院、百貨店等から演奏依頼をいただいております。同窓生の集いでも演奏もお受けいたします。お気軽にご連絡くださいませ。

宗教センター
045-812-8252

キャンパスだより



山手から山手へ 伝統を未来へ伝える

英語英米文学科・英文学科 教授
渡辺 信二



赴任して改めて思いですが、フェリス女学院大学はとても良い大学です。学生たちがおしなべて素直で明るく前向きです。特に一年生が初々しい。彼女たちが果敢に課題と格闘する姿に、このまま真っ直ぐに伸びてほしいと祈る気持ちで一杯です。

日本女性の自立のために、フェリス女学院は存在してきました。言うまでもなく、自立は、孤立ではありません。自立して初めて、「他者のために」生きる、他者と共に生きる、他者と信頼し合う、他者を尊敬し自分を大切にすることができま

明治3年からの歴史と伝統を誇るセミナーとして、その良さをさらに生かすフェリスならではの方法がないかと考えるのですが、たとえば、かつては女性に押しつけられていた「家事／家政」が、今や、男女を問わず、より必要とされている時代です。そして、調べてみれば、フェリスには家政科があり、有為な人材を輩出していました。この一旦途切れた伝統を、新たな装いのもとに蘇らせることが出来ないでしょうか。

今の4年生は、現代に必須なプラスαの知性や知識を欲しています。彼女たちの関心は、

学科の枠を超え、ファッション・化粧・料理・芸術的な素養、社会人としての振る舞いやマナーなど、多岐の分野にわたります。国際社会人としてのたしなみを身に付け、社会や家庭「国事／国政」や国際社会において更に活躍する卒業生を送り出せるのではないのでしょうか。

あるいは、緑園キャンパスも地格の高い場所です。冬の晴れた夕刻、遠くにくつきり見える富士山から気が流れてきます。それは、冬や夕刻だけでなく、いつもそうでしょう。ただ、やはり、フェリスと言えば山手です。今はフェリスですと言つと、「良いですね、あはきつい坂を上って行ったことがありますよ」と少なからぬ方が応じます。在学生にも、校地が山手にあると思つて受験した、という者がいました。

大学が日常的に山手で授業を行えば、フェリス生としての自覚もいや増しに深まります。土地は恐るべし。英語で言えば、「genius」。山手はフェリスのエトスを醸成し育成している、とは大塩武学院長の言葉です（「同窓会会報」第10号参照。今季部の山手復帰が最も望ましいが、せめて、現音楽学部のように、文学部も国際交流学部も、3、4年生はすべてからく山手で学ぶよう、何らかの工夫が必要だと思えます。

実は赴任が遅かったため、私に残されたフェリスの時間は少ないのですが、フェリスに貢献すべく努めますので、どうか、叱咤激励をお願いします。

同窓会室より

・りてらは、様々な催しやイベントに参加しています。中でもオリジナルグッズ販売は、同窓会の存在を皆様にお知らせする活動の場となっております。例年通り大学祭でのショップ参加、昨年は若い同窓生にもお手伝い頂き、のぼりを立てて、又、昨年度より、山手での学位授与式（卒業式）、入学式にて、卒業生・新入生やそのご家族に販売を行い、大変ご好評を頂きました。大学祭は、今年も11月2日（日）3日（月）緑園キャンパスにて開催されますので、どうぞ皆様でお越し下さい。



なじみのファイルは新色セット、便利なマルチペンのピンクも新発売です。ご好評のトートバッグは、雨にも強いビニール製と、使い易いキャンバス地が人気。グッズは、ホームページでもご覧頂け、通信販売もしております。



・りてらグッズは、シルバートオオノ製オリジナルプレート・プレスレットが仲間入り。お中です。（045-681-5210）

りてら2013年度決算報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)

●収入の部(円)

科目	決算
終身金利	11,880,000
預金	16,357
雑収入	10,000
取小計	11,906,357
前年度繰越金	52,754,854
収入合計	64,661,211

●支出の部(円)

科目	決算
事務消耗品費	75,601
印刷費	37,629
報連費	2,745,335
総会費	899,246
通信費	206,049
交件費	951,662
交通費	185,750
手数料	5,252
パソコン関連費	24,983
ホームページ関連費	154,100
会議費	99,701
卒業・入学関連費	852,272
際品費	39,260
備り品費	0
一学祭費	69,300
寄付費	26,352
大会費	1,000,000
企画費	70,000
就職課支援金	16,470
クリスマスカード費	300,000
雑費	777,323
雑備費	11,111
予備費	0
支出合計	8,547,396
次年度繰越金	56,113,815
合計	64,661,211

※今年度の寄付・支援金総額は1,300,000円

同窓生だより

文学はエステだ！

安藤 公美(87)

私は、芥川龍之介文学を中心に研究をしています。非常動先の大学や社会人講座など、その知見を披露する場をいただき、知性と感性を働かせる場を共有できることは何とも意義深く、楽しい経験です。因みに、美顔を求めて通うエステの語源 Aesthetica は、もともと「感性」と「学問」を合わせた複合的な単語のようです。エステとは、身体の表層を美しくするのはなく、感性のもつ知的な働きの美しさという。文学はエステだ！というわけ

ら助成を受けて博士論文を単行本にする際に本のカバー絵を描いてくれたり、夜を徹して校正してくれたりした大学時代の友人たち、そして講座を通して学ぶ縁をいただいた方々、フェリスで得たつながりに感謝すると共にこれから益々発展させていかねばと思うこと頻ります。

フェリスとの縁は、一九八三年四月の入学に始まります。九一年、新設された大学院に一期生として入り、前後期課程を経て博士号を取得するのが二〇〇三年三月ですから、学び舎としてのフェリスには二〇年もお世話になりました。修了後も「文章表現法」ほか、「私たちが学びたいこと」(第1回宮部みゆき「火車」を読む)などの授業を担当し、また生涯学習課でも「自伝史を書く」(芥川文学探訪)の講師として、後輩や講座を共にする仲間たちと勤しましました。フェリスに関わること三〇年！何気なく選んだ道が、今に至っていることに驚きを隠せません。海のものとも山のものともわか

先口、紀尾井町で行われたキース・ジャレットのライブを聴きました。会場で、偶然にも教え子と遭遇、優秀な印象そのままに活躍の様子でキースは、会場で聴衆に静寂を求めることで有名です。何も無いところから自分は音楽を生み出すのだから、聴きに来た人は、その創造を邪魔しないという唯一つの仕事をしてくれというメッセージです。芸術が、プレイヤーと鑑賞者との緊張感ある、あるいは積極的な共同作業があつてはじめて成り立つという現象を目の当たりにします。その日のキースの演奏も神がかり的でしたが、そこには、弾かれています音以上の何ものかが確実に在ることを実感しました。再会が偶然ではないように、文学を読むという行為も同じで、書かれた文字以上の何ものかを確実に在るものとして実感することのできる経験ではないでしょうか。これもまたエステ効果です。

もともともわか
らぬうちから
指導し、また
教える場を提
供してくだ
さった先生方
ゼミで鍛えて
くださった先
輩方、大学か

効率よく、実利的に生きることを強いられる人生の中心に文学があること、声高に「絆」を叫ぼうと、ラインやツイッターをオフにしても、尚それぞれを豊かにし合うつながりがあることの素晴らしさ。大学はその源です。

最後になりましたが、文学に興味関心をおもちの方、国際芥川龍之介学会(宮坂覚会長)にて一緒にエステをいたしませんか。

最後になりましたが、文学に興味関心をおもちの方、国際芥川龍之介学会(宮坂覚会長)にて一緒にエステをいたしませんか。

小さな旅くりしる

学部・学科のいま

昨年の十一月十九日(火)、空が高く紅葉も美しい快晴の日に、川越を散策してまいりました。川越は都心からわずか一時間ほど、江戸文化の影響を色濃く受け継いだ蔵の街として有名です。東横線と副都心線・東武東上線が直通運転となり、横浜からも遠く感じられない距離でした。重要文化財を数多く有する喜多院と川越城本丸御殿を見学し、風情ある御食事処で皆様と美味しいお食事をいただき、食後は趣深い蔵造りの街並みを眺めながら、川越土産のお買物を楽しみ、タイミングよく「時の鐘」を聞くことも出来ました。

実に卒業以来初めて、「りてら」のイベントに参加いたしました。30年ぶりに会う友人との語らいも、在学中と変わらずに大変楽しく、時間の経つのを忘れてしまった小旅行でした。

清水 緑(83E)

今年は何年より少し早めの九月二七日(土)に、はとバスで東京名所めぐりをいたします。詳細につきましては、りてらにお問い合わせください。たくさんのご参加をお待ちしております。



フェリスは、前進し続けています。編成が変わり「もう随分昔に卒業したから、大学がどうなっているか分からないわ」という方のためにも、変わらぬ教育理念のもと、近年カリキュラムが一新名称も変わった学部・学科の「今」をお伝えします。

〈文学部〉

- ・英語英米文学科
ハイレベルな英語力の習得と、英米文学などを通して、英語圏の文化・社会を、世界的視野で学ぶ。
- ・日本語日本文学科
古典・現代日本文学を読み解くだけでなく、日本語に関わる文化・社会とその変化を、多角的・専門的に学ぶ。
- ・コミュニケーション学科
情報社会の中、多様化する文化の理解、人との共生、対人関係能力を考え、又その調査・研究法を学ぶ。

〈国際交流学部〉

- ・国際交流学科
世界の文化・社会を学び、グローバルな視点・発想を身につけ、国際社会に発信できる行動力を習得する。

更に、自由に履修できる開放科目や、研究科(大学院)、オープンカレッジ(生涯学習)も充実。卒業時には、入学時以上の満足感を抱く学生が増えています。フェリスのこれからに期待してお見守りください。

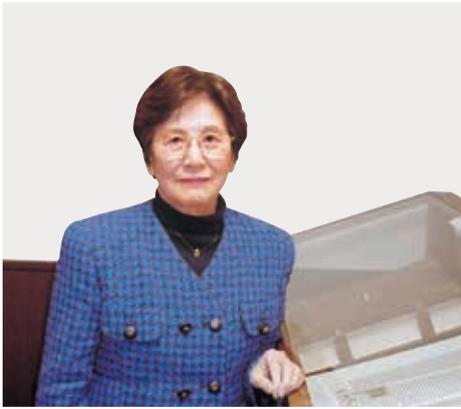
りてらアーカイブ

今回は、文学部名誉教授小塩トシ子先生です。永年にわたりフェリスにご尽力され、翻訳・執筆活動でもご活躍されています

「思い出すことなど」

小塩 トシ子

そこは、かつての山手キャンパス三号館の最上階にあつて、百数十名は収容できる三四大教室。やわらかい春の日射しが正面の講壇に向かって右側の広い窓からふり注ぐあたり、どなたの揮毫であつたか垂幕に次のような『伝道の書』（現行新共同訳では『コヘレトの言葉』）の



一節、「汝の若き日に汝の創り主を覚えよ」と書かれ、ここで毎日礼拝が行われていました。

大学紛争とも呼ばれていた世の中全体を揺るがす歴史のうねりが一応の収束をみたとはいえ、一九七五年の四月に新しい職場フェリスに移った私には、まだ教育環境について内心の不安がありました。英文学系スタッフの陣容も半数が入れ替わったばかりだと聞いていましたし、学生たちはその影響で落ち着かぬ状態ではなからうかと考えたのです。ところが辞令を受けに学長室へうかがつてみると（当時の宮本武之助学院長も前任校で紛争の矢面に立たれたとか）、にこやかな歓迎のことばと、壁にかけられたミス・キダーのなんともふくよかな温顔に迎えられる、続いてオリエンテーションで三四大教室に集まった学生たちの明るく清純な姿に接して、こわばっていた肩が解れたのでした。

以後二四年のあいだ、初めは通勤に四回の乗り換えを要した往復四時間余り、家庭・育児・講義の準備・評価、そして遅々とした歩みの研究のバランスや配分に苦労しました。教育・研究の面でも自

他共に能力不足ゆえの問題を抱えたりしながら、多くの同僚の先生・職員の方々そしてなによりもと言える学生からの支えや後押しを得て勤めを果したと、今づくづく感謝しています。

いつかイギリスから来ていた女性の同僚が「日本の女子大生を見てみると、入学した時は少女でも、卒業時は女性になつている」とその成熟度に感慨を洩らしていましたが同感でした。でも永年フェリスに居て成熟したのは他ならぬこの自分であつたのかも知れません。

一学年全体を対象とした英文学史・文学概論・基礎演習からゼミ、課外の夏合宿に至るまで、やがて大学院ができてその研究指導など、どの一つをとつても楽しい（時には苦しい）経験でした。

自分が大学生の頃、勉強しまた演じもしたシェイクスピアをフェリスで学生と一緒に学ぶ中心に据えましたがテキスト講読はむろんのこと、やがて周辺の文化事情を知る必要を感じ、在外研究を許された機会には、シェイクスピア・インスティテュートに身を置きながら時を見つけて英国のあちこちを津津浦浦とまではいかずとも、単身ブリットレイル・パスを大いに活用して見聞できたことは、学院で文学史を講じるのに役立つことでした。それにロンドンやストラットフォードでさまざまなシェイクスピア劇の上演に貪欲なほど出かけて接したことも教室での学びに反映できたと思います。今年には沙翁生誕四五〇周年、たまたま

かつて一九八〇年初め頃、世に出た俳優（S・R・ピール）が三〇年後の今、老王『リア』を国立劇場で演じているのを来る六月末に観る予定で楽しみにしています。

演劇と平行してずっと保ってきた英詩、とくに女性詩人たちの仕事への関心がよくやく形となって世に問うことができた。エリザベス・バレット・ブラウニングの長編詩『オーロラ・リー』の翻訳です（九州大学出版会刊）。親しい交わりの続くゼミの卒業生たちが『fourscore and upward』となった祝いを兼ね、先日横浜に集まつてくれ嬉しいことでした。

大学はキャンパスが緑園に移つて何年でしよう。学部学科も生涯教育などのプロジェクトも充実し、なによりも正門横に大学固有のチャペルがあり、「垂幕」ではなく美しいステンドグラス、オルガンの響きの中で毎日礼拝が捧げられているのを想いつつ讃歌と共に筆を擱きます。

Gloria In Excelsis Deo!

りてら同窓会室

開室 毎週火曜日・木曜日 10時〜16時
（大学の春・夏・冬休期中は閉室）
〒二四五―八六五〇
住所 横浜市泉区緑園四―五―三
フェリス女学院大学内
電話 〇四五―八二―八六九二
FAX 〇四五―八二―八六九六
URL <http://littera.gr.jp>
Eメール info@littera.gr.jp

りべるて

Vol. 26
家政科同窓会

りべるての皆様

会長 金子 和恵



りべるての会員の皆様、いつもりべるての活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

今年も会報をお届けできますことは、寄稿並びに編集にご尽力くださいました皆様のおかげと、感謝申し上げます。

学院とともに、家政科卒業生にアンケートを実施しましたところ、多くの回答をいただきました。本当にありがとうございます。会員の皆様の思い出や同窓会への要望も寄せられていますので、今後の活動に生かして行きたいと思っております。その中で多くの方々より、役員へのねぎらいの言葉を頂戴いたしました。重ねて皆様のお心遣いに深く感謝申し上げます。

役員につきましても、新しい方々にご参加いただきたく、会報への募集記事掲載やお声掛け

などをしておりますが、思うようにお申し出をいただけない状況でございます。その中で、皆様方からの感謝のお言葉を励みに、役員一同、今年も活動してまいります。

会員名簿の管理は同窓会の大切な仕事ですが、転居や地番変更等で住所不明となりますとお手紙をお送りすることができなくなりますので、その節は同窓会までご一報ください。また、お友達のなかでお手紙が届いていない方をご存知でしたら、ぜひご連絡ください。

さて、昨年度も5つの講習会を他の同窓会会員の参加も得て開催いたしました。参加された方から、「楽しかったので、次回もまた来ます」と言っていたけると、とてもやり甲斐を感じます。

大学とは、「ひとり暮らしの学生応援プロジェクト」に協力し、家政科記念館を会場にクリスマスリースを作りました。大学生が一生懸命取り組み、喜んで帰られると、ご協力できたことをうれしく思います。

フェリス祭参加バザーは地域にも定着して参りました。どうぞ皆様も、ホームカミングデーとして記念館に遊びにいらしてください。お待ちしております。

これからも、母校と同窓生をつなぐ役割を第一に活動して参りますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

中島省吾先生とりべるて

昨年12月24日、中島省吾先生はご逝去されました。

中島先生は、当時学院長として、家政科の発展改組を成し遂げられました。

家政科が幕を閉じたことは、卒業生としてもとても悲しいことでした。しかし、中島先生はいつもいつも家政科同窓生を、また、同窓会をお励ましくくださいました。

今私たちが活動しております家政科記念館を、理事会において、「短期大学家政科記念館」として永久保存することとしてくださり、家政科同窓会を他の同窓会と同列に大学の中の一つのグループとして位置付けてくださいました。現在、りべるてが活動できる方向を定めてくださったのが中島先生でした。

いっお会いしてもおやさしい眼差しでりべるての話を聞いてくださいました。

これからは、1988年「山手68」に掲載された先生の思いを胸に活動して参ります。

どうぞ、いつまでもりべるてを見守ってください。

心から感謝と哀悼の意を捧げます。

金子 和恵



奨学金贈呈

二〇一四年度りべるて奨学金は、六月十四日りべるて総会の席上、秋岡陽学長に贈呈いたしました。謹んでご報告いたします。



二〇一四年度役員

副会長	金子 和恵
書記	村本とよ子
書計	小倉由紀子
総務	北村 周子
〃	遠藤木美子
〃	石井 克子
〃	池田 昭子
〃	近藤 誠子
〃	鈴木 初枝
〃	岩江眞理子
〃	三藤 裕子
〃	三浦由里子
〃	郷 佑美
会計監査	浅見 治美
	D 51
	D 44
	D 61
	D 43
	D 45
	D 43
	D 35
	D 51
	D 43
	D 45
	D 43
	D 51
	D 44
	D 61
	D 43
	D 45
	D 43
	D 35
	D 51

家政科卒業生アンケート

このたび、150年史編集事業の一環として行ったアンケートにご協力をいただき、ありがとうございます。おかげさまで多くの皆様からご回答をいただき、貴重な証言を含めた短期大学生活の記録を集めることができました。また、写真、教科書、ノート、作品など思い出深い品々も数多くご寄贈いただきました。大切に保管し活用してまいります。

アンケート結果は今後の年史編集過程で利用する予定ですが、誌面をお借りして集計結果と内容などの一部を紹介いたします。

〈短期大学アンケート実施報告〉

- 1、調査時期 2014年2月7日
- 2、発送総数 4,648通発送
- 3、アンケート集計表 (国内在住全家政科卒業生) 総回答者数 639名

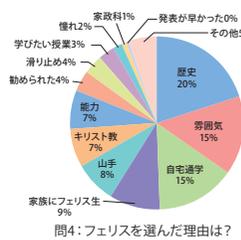
卒業年	回答数	回収率
1950～55年度卒	18	21%
1956～60年度卒	45	19%
1961～65年度卒	67	15%
1966～70年度卒	121	15%
1971～75年度卒	87	11%
1976～80年度卒	112	12%
1981～85年度卒	126	14%
1986～89年度卒	63	12%
合計	639	14%

*小数点以下は四捨五入

1950～55年度卒業生の回答数は少ないように見えますが、もともと卒業

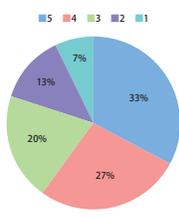
された人数が少ないので回収率は一番高くなっています。

フェリスを選ばれた理由では、学校の周囲の環境など「雰囲気」の良さを挙げる方が多く、山手にあったことと合わせると23%に

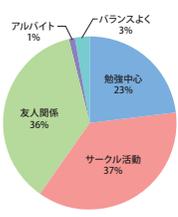


問4: フェリスを選んだ理由は?

がフェリスに憧れをもっていられた方も多かったようです。



問5: 在学中は充実していましたか?



問6: 何に重点をおいて過ごしたか?

「在学中の充実度」について低い評価をされた方は、もっと勉強をしておけばよかったと自己反省の意味もあつたようです。「学生生活で何に重点をおいたか」という問いに対しては、勉強、サー

クル、友人関係がバランスよく回答され、何事にも一生懸命取り組む姿勢が見られました。

1950～60年代卒業生の中には、「何もない時代だったので、着るものは手作り、楽しみは映画」しかなかったが「8時半から17時くらいまで授業があり充実した生活」だったと振り返る方が多かったです。それ以降の高度成長期、バブル期では華やかな「ハマトラ」「ダンスパーティー」「ブランド品」など一時代を築いた言葉があふれるようになり、時代とともに変化していく女子大生生活を具体的に示しているようでした。

いただいた回答の多くは「家政科で学んでよかった」「短大はなくなったが、フェリス卒業生であることに誇りをもっている」という思いに満ち、フェリスで学んだことが今も活かされ、息づいているように思われました。

今後も引き続き資料収集は続けてまいります。記録すべきこと、保存すべきものなどお気付きの事がありましたら、学院資料室までご連絡をお願いいたします。(学院資料室)

〈探しています〉
昭和44年新聞部が発行した新聞第32号を探しています。
お持ちの方がいらつしやいましたら資料室までご連絡ください。
宜しく願います。
TEL 662-4411

行事予定

- 十月九日 大森先生のお菓子教室
- 十月三十一日・十一月一日 りべるてバザー
- 十二月十三日(土) クリスマス礼拝
- 二〇一五年
- 一月二十八日(水) 大村先生のステンドグラス教室
- 二月十八日(水) 矢吹先生の北欧絵織物教室

献品のお願い

学院維持協力会に協力するため行なうりべるてバザーに、ご家庭で利用されない未使用の日用雑貨品や贈答品等がありましたら、献品くださいますようお願い申し上げます。

尚、食料品、衣類は除外させていただきます。(郵送・宅配便可)

- 受付期間: 十月三十日まで 毎週木曜日 十一時～十五時
- 受付場所: 家政科記念館 二二二一八六五二 横浜市中区山手八八
- 受付場所: 家政科同窓会りべるて宛

あの頃を訪ねて 横浜中華街

昭和30年代から40年代にかけて、中華料理を教えてくださいました李先生を覚えていらっしゃいますか？中国の方で、ご夫妻で授業をされたそうです。中華料理だけでなく、中国語、中華料理のマナーを丁寧に教えてくださり、当時のプリントを今でも大切に使用しているとのこと。また、結婚する時に調理用具購入の相談にのっていただき、お店の紹介をしていただいた方もいらっしゃいます。授業の前には、お当番が中華街まで材料を買いに行ったりです。

そこで、中華街を訪ねてみました。

横浜は開港後、横浜新田といわれていた一帯を外国人居留地として開発しました。欧米人とともに多くの中国商人や外交官の雇い人が横浜へ来るようになりました。当初は、香港や広東省出身者が多かったそうです。明治のはじめ、横浜に暮らす華僑（約1000人）が、関帝廟・中華会館などを建て街を発展させていきました。この頃は、日用雑貨店、衣料品店、食料品店が大分で、中華料理店は多くありませんでした。

中華街には4つの門があります。東の朝陽門、西の延平門、北の玄武門、南の朱雀門です。山手から元町を抜けると朱雀門が見えてきます。また、みなとみらい線元町中華街駅から朝陽門入ると中華街大通りです。左右には昔からの中華料理店が軒を連ねています。その中の聘珍樓は、



日本に現存するもつとも古いお店で、創業明治20年です。この中華街は、昔、南京町の愛称でも親しまれていました。袁世凱に追われた孫文も日本に亡命し、中華街の中で華僑にかくまわれて生活していたことがありました。関帝廟は、1862年（文久2年）一人の中国人が関羽の木造を抱いて来日し、現在の地に小さな祠を開いたのが始まりといわれています。日々の暮らしの安寧や商売繁盛を願う華僑の心の拠りどころとなっています。また、横浜媽

祖廟は2006年に完成し、華僑・華人に信仰される海の女神、媽祖を祀っています。参拝の作法はいずれも、本殿の外にある5つの香炉に順番に線香を供えてから神殿にお参りするそうです。

広東、上海、四川、北京料理を中心に発展した中華街。プロの料理人御用達の調理用具を見たり食を楽しんだりして、山手上ってきてください。

10月31日（金）、11月1日（土）は、家政科記念館でバザーを開催します。皆様の思い出話を、ぜひお聞かせください。お待ちしております。

〈電車でのアクセス〉

- ・渋谷駅から元町中華街駅まで 約40分
- ・和光市駅から元町中華街駅まで 約60分
- ・東京駅から石川町駅まで 約40分
- ・大宮駅から石川町駅まで 約75分

お料理教室

台風接近中の7月10日（木）、お料理教室が開催されました。94歳になられる友井先生は、台風の影響でおいでになられず残念でしたが、大森先生が教えていただきました。

今回のメニューは、夏バテしない様にと、元気のなる黒酢豚：下味をつけた豚りプロース厚切りに、片栗粉をしつかりまぶし揚げて、トロミのつくまで煮詰めた黒酢ソースをからめた物。付け合わせ：ズッキーニフライは、棒状にカットしたズッキーニを揚げた物、万願寺とうがらしを焼いた物、トマト等。キャロットサラダ：人参セロリをスライサーで斜め薄くスライスして、砂糖・にんにく・酢・オリーブ



オイルを混ぜ合わせ、枝豆と一緒に和えた物。デザートは梅酒と梅のスクエアケーキ：刻んだ梅の実の入った季節感あふれるケーキでした。どれも身近な食材でしたが、一手間かけて美味しく作るコツなど教えていただき、とても贅沢な品になりました。



毎年お料理教室を楽しみにされ、多数の方が参加して下さいます。今回は、りてら・Fグループの同窓生も参加されての楽しい実習、そして美味しい食事会になりました。

フェリスグッズ

- ・本革ペンケース 各1,600円
（赤・茶・紫）
- ・エプロン 各2,000円
（黒ストライプ・
黒・赤・茶・青）
- ・スプーン・フォークセット 500円
- ・クリアファイル（2枚組） 200円

《グッズ申し込み先》

家政科同窓会りべるて

Tel・Fax (045)662-0750

ステンドグラス教室

気持ち良く晴れた1月29日(水)、久しぶりに石川町の駅を降り、少し息を切らしながら坂を登ると、懐かしい校舎が見えてきました。楽しみにしていたステンドグラス教室の日です。

旅先などで目にする、光に照らされて、やわらかく暖かい光りへと変化するステンドグラスをとて素敵に感じたり、その様なものを、私に作れるのか不安だったのですが、思い切って参加させて頂きました。

作品は、今年の干支である馬を形取ったものでした。ガラスを繋ぎ合わせる為の、初めてのハンドゴテの扱いに少々緊張したものの、無事に完成させる事が出来ました。家に帰り窓にかざし、ガラスを通して見える色やきらきらした光を眺めて、つい嬉しくて微笑んでしまいました。充実した楽しいひとときを過ごす事ができました。



初めての私に親切に教えて下さった大村先生、この様な機会を作って頂いた役員皆さま、本当に感謝しております。ありがとうございました。

(中川玲子・D62)



お菓子教室

2月27日(木)、りべるて主宰「お菓子教室」にてレモンシフォンケーキとバナナシフォンケーキを教えていただきました。

無農薬の安心できるレモンの皮と果汁を使ったものとフオークですりつぶしたバナナにシナモンをきかせたものがオーブンの中で膨らむ様子は見事でした。焼き上がったシフォンは香り高く、季節の果物と生クリームを添えていただきました。



今までは自己流で作っていましたが、メレンゲの状態や混ぜ合わせる加減、シフォン型からケーキを外す行程等、繊細なプロの技をご教授いただき仕上げが格段によくまりました。先生直伝のふわふわなシフォンケーキは皆を笑顔にする逸品でお客様へのおもてなしとしても最高です。

梅の香る山手の地にて、久しぶりに学生に戻り、先生のもと世代の異なる学友と共に一つのものを作り上げることができ、身も心も満たされました。このような機会を与えてくださった、りべるての役員の皆様へ感謝申し上げます。

(倉掛典子・D55)

2013年度決算報告書

(2013.4.1~2014.3.31)

科目	金額(円)
受取利息	911
事業費(グッズ販売、バザー)	349,142
寄付金	0
その他	0
小計	350,053
前年度繰越金	11,431,201
合計	11,781,254
奨学金基金	500,000
寄付金	84,942
交際費	10,000
事業費(グッズ)	13,862
小計	608,804
次年度繰越金	11,172,450
合計	11,781,254
繰越金明細	
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行)	2,658,826
定期貯金(同上)	3,012,000
通常貯金(同上)	962,423
通常貯金(同上)	1,158,720
普通預金(横浜銀行)	372,916
定期預金(横浜銀行)	3,007,565
合計	11,172,450

2013年度運営費報告書

(2013.4.1~2014.3.31)

科目	金額(円)
受取	
基金運営費(学院より)	2,417,618
合計	2,417,618
支出	
消耗品費	24,071
旅費・交通費	409,880
通信・運搬費	861,416
印刷製本費	802,833
報酬手数料	1,970
会議費	92,146
諸会費	100,951
渉外費	47,330
雑費	77,021
修繕費	0
事務費	0
寄付金	0
合計	2,417,618
収入-支出	0

2014年度予算

2014年6月14日

科目	金額(円)
消耗品費	120,000
(事務用)	10,000
(その他)	110,000
旅費・交通費	410,000
通信・運搬費	940,000
(郵便料金)	930,000
(宅急便)	10,000
印刷・製本費	800,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	100,000
諸会費	100,000
渉外費	100,000
雑費	90,000
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,662,000

会長 金子和恵
 会計 石井克子
 池田昭子

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2014年5月8日

監査 郷 伽美
 浅見 治美

お知らせ

D34クラス会は参加者減少のため、昨年をもちまして終了いたしました。

D34 中村淑子

お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。変更がありましたら、りべるて宛お知らせください。

TEL・FAX 045-662-10750

Fグループの皆さま

Fグループ会長 熊本美也子(17回)



いつもFグループの活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。ごめんなさい。

今春、Fグループ

は学部・大学院合わせて101名の新卒業生、修了生をお迎えしました。卒業後も研鑽を重ね内外で活躍する同窓生のニュースを聞き、そのコンサートを応援することは本当に嬉しいFグループの役目です。

今年度は初めての試みとして、指導者として後

進を育てていらっしゃる卒業生に向けての提案です。生徒さんの発表会をフェリスホールで開催しませんか？

Fグループでは「山手の丘合同発表会」を開催することになりました。第一回は2015年3月28日(土)を予定しています。

お一人の先生ではなかなか発表会を開き難い昨今です。何人かの先生が集まって響きの良いフェリスホールで発表会が出来たら楽しいのではないのでしょうか？生徒さんに母校フェリスを知っていただくチャンスにもなります。

Fグループホームページに随時、最新情報が載りますので、是非ご検討下さい。多くの先生方のご参加を期待しております。

昨年度の「研修会とフェリスホールのための募金コンサート」には皆さまからのたくさんの暖か

く力強い応援のお陰で予想を上回る寄付をする事が出来ました。本当にありがとうございます。今秋も「音楽学部のための募金コンサート」を11月22日(土)にフェリスホールに於いて開催いたします。中部支部とスイスからの同窓生が多彩なプログラムを展開します。

今年度の「研修会」と「募金コンサート」には今春名誉教授となられた久保浩先生、名倉淑子先生が協力してくださいませ。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

「ジョイントコンサート」を加えた秋の3企画はチケットを購入されてご来聴くださる皆さまに支えられています。今年もFグループは元気に頑張りますが、その運営がこれからも活発に継続出来ますよう、皆さまからのご支援、お力添えをよろしくお願いいたします。

「ジョイントコンサート」を加えた秋の3企画はチケットを購入されてご来聴くださる皆さまに支えられています。今年もFグループは元気に頑張りますが、その運営がこれからも活発に継続出来ますよう、皆さまからのご支援、お力添えをよろしくお願いいたします。

音楽学部から新しい風が

音楽学部 学部長 立神 粧子



短大音楽科時代から支えてこられた久保浩教授と岡島雅興教授、そして管弦部門の発展に貢献された名倉淑子教授の3名の特任教授

が三月に退官され、名誉教授となりました。

ご尽力とご貢献に心よりの感謝を申し上げます。

築かれた歴史を今後どう歩んでいくか、教員

一同真摯に取り組んで参ります。同窓会の皆様には母校での演奏会等にお運びいただき、ご声援・ご支援をお願い申し上げます。

今年度、音楽学部は3名の嘱託専任の先生をお迎えしました。音楽芸術学科のたかの舞剛准教授はドイツでリゲティに師事した作曲家です。演奏学科の戸田弥生教授はエリザベート王妃コンクールで優勝されたヴァイオリニスト、井出朋子講師は日本音楽コンクールで優勝されたフルート奏者です。

それぞれの素晴らしいご経歴が今後どのように研究・教育の中で生かされ、学生たちに刺激を与えてくださるかとても楽しみです。

2014年度から定員30名となった演奏学科

は、伝統ある少人数教育を守りつつ演奏固有の導入教育を組み込み、技術の習得とともに教養ある音楽人の育成を目指しカリキュラムを改革しました。活躍目覚ましい声楽アンサンブルのフラウエンコーアは少人数アンサンブルを充実させる取り組みの大きな成果と言えます。

副科実技ではバレエの実技レッスンは全学的に大人気です。定員45名の音楽芸術学科は53名が入学しました。

意欲に満ちた元気な学生たちがそれぞれのニーズに合わせて目標に向かって勉強し立派に社会に飛び立っています。

大学HPから新しい動画を配信中です。音楽学部のいまをご覧ください。幸甚です。

Fグループ寄付のお願い

切り詰めても非常に厳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば大変有難く存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。一口1,000円から受け付けております。
ゆうちょ銀行 00280-3-75184 Fグループ
通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください。

2013年度 音楽の贈り物

ジョイントコンサート
13年9月13日 フェリスホール

昨年は9月13日、フェリスホールにてFグループジョイントコンサートを開催いたしました。ピアノ、声楽、ヴァイオリン、そして二台ピアノによるプログラムでお贈りいたしました。



音楽芸術学科と演奏学科から新卒生をお迎えし、卒業後も勉強をお続けになっている同窓生の方々の真摯な演奏にフェリスに繋がれているスピリッツを感じることで、きる一タとなりました。
二台ピアノのとても華やかなスペインの作品に加え、名曲が揃っていたこともあり、お客様にも大にお楽しみいただけたのではないのでしょうか。
今年は9月15日(月・祝) 15時より、山手フェリスホールにて開催いたします。同窓生の皆さま、懐かしの山手の丘へ是非おかけくださいませ！
山手の丘、同じ学び舎で育ったご姉妹の皆様、温かなご声援をいただけましたら幸いです。秋のフェリスホールでお待ち申し上げております！

出演者も毎年募集いたしておりますので、是非お問い合わせくださいませ。
(担当 海野美栄・44回)

【13年度出演者】 菅彩夏子(62回Vo) 入江あかね(62回Pf) 神戸裕衣(61回Vo) 新田裕里子(61回Pf) 原野秀子(54回Pf) 中川彩(61回Pf) 伊郷彩花(56回Vn) 渡辺まこみ(54回Pf) 大野加津子(54回Vo) 伊坪淑子(41回Pf) 西村泉(46回Pf)

◆ジョイントコンサート出演者募集
毎年9月予定のジョイントコンサートはFグループ会員、音楽学部関係者でしたら出演可能です。(書類選考あり)
詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

ティータイムコンサート 13年10月18日 フェリスホール

13年度のティータイムコンサートは、ソプラノ岡田彩さん(53回)リコーダー伊豫田祐子さん(37回)オルガン林めぐみさん(36回)で結成されたアンサンブルグループ、ティーパーツをお招きして、イギリス音楽の演奏やお話をさせていただきました。美しく響き渡るソプラノ、リコーダー、オルガンの音色がとても心地良く、来場者の皆さんもうつりと聴かれていました。三人のトークも和やかな雰囲気、温かく素敵なコンサートでした。
(担当 中川彩・61回)



研修会 13年11月23日 フェリスホール

昨年の研修会は11月23日「フェリスホールの為の募金コンサート」とタイアップしてお贈りさせていただきました。
前半は講師に宮本とも子先生をお招きし、バツハ時代のオルガン礼拝の研修会を、後半は「募金コンサート」と称し、糺垣佳子さん(48回)によるオルガン演奏、フェリスヴォーカルアンサンブル九州(指揮・土屋広次郎先生、ピアノ・立神粧子先生)による女声合唱演奏、星野聡先生(ピアノ・立神粧子先生)によるバリトン独唱、堀由紀子先生によるピアノソロ演奏をお贈りいたしました。
沢山のお客様がいらしてくださり、募金もご協力いただき、盛況の内に終了いたしました。



《14年3月6日 6号館631教室》
出席人数33名。13年度一般会計収支報告(仮)および会計監査報告、14年度一般会計収支予算(案)についての報告・承認が行われました。
その後、各役員からジョイントコンサート、研修会、ティータイムコンサート等、昨年度の諸活動について報告がありました。
当日は、とても風が強い日にもかかわらず、多くの幹事の皆様にお集まりいただき、感謝申し上げます。
(担当 菅原麻衣子・50回)



Fグループ2014年度コンサートのご案内

ジョイントコンサート
9月15日(月祝) 15:00開演
山手キャンパス・フェリスホール ¥1,000
【出演】
声楽 音羽麻紀子(60回) 杉江祐子(53回)
ピアノソロ 小松愛(60回) 山岸梓乃(50回)
ヴァイオリン 森田綾乃(62回)
合唱 アンサンブルMora
音楽作品展示 石塚翔子(63回) 近藤麻絵(63回) 秋山季恵(63回)

研修会
10月17日(金) 15:00開演
山手キャンパス・フェリスホール ¥2,000
ピアノ指導のポイント
--ピアノデュオ(2台ピアノ)曲を中心に--
【講師】久保浩先生(本学名誉教授)
【デモンストレーター】
田口(久保)佐緒理(51回) 館野(池浦)もと子(51回)

音楽学部のための
募金コンサート
11月22日(土) 15:00開演
山手キャンパス・フェリスホール ¥2,500
【賛助出演】
ヴァイオリン 名倉淑子先生(本学名誉教授)
チェロ 井上雅代先生(本学講師)
【出演】
合唱 Coro Felice(中部支部)
ピアノ 大橋雅子(43回) 栗田麻子(52回) 井手沙耶花(53回) 北村まりえ(58回)
《お問い合わせ・お申し込み》
Fグループ事務局(木曜日10時~17時)
Tel & Fax 045-681-6740
f-group@ferris.ac.jp

朝倉蒼生先生を偲んで

太田 淑恵(52回)

初めてのレッスンで先生にお会いしたとき、その物腰や雰囲気があまりに素敵で引き込まれてしまったのを覚えています。毎週レッスンでお会いできるのが楽しみでした。

時々先生のご自宅でレッスンを受けることもあり、お宅は急な坂道の頂上にありましたが、いつも汐汲坂で息を切らしている私も、このときだけはスイスイと上れてしまうのです。



先生はご自身には厳しい方でしたが、レッスンは優しく穏やかで、出来ないところは諦めずに繰り返し教えてくださり、どうしたら上達できるのかいつも親身に考えてくださいました。辛抱強くご指導いただいたことに、本当に感謝の念でいっぱいです。

今でも楽譜の書き込みを見ると当時のレッスンの様子が蘇ってきます。先生への想いととも、これからも歌い続けていきたいと思えます。

先生、沢山のことを教えてくださり本当にありがとうございます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

支部だより

北支部

支部長 工藤 羊子(30回)
この支部便りの依頼が来て、もう一年経ったのか・・・と驚いています。

この一年は、次回東北地方での演奏会(賛美の会)準備のために時間を費やし、気が付けば2014年になってしまいました。今年秋、福島での賛美の会を実現すべく動いております。同時に、各地での懇親会も企画出来ればと思い、各方面の方々と相談中です。

今年の支部便りも、元気に活動している様子をお伝えできないことを心苦しく思いますが、支えて下さる支部のみなさま・本部の方々に感謝しつつ、ゆっくり着実に北支部で出来る事を、実現に向けて努力してまいりたいと思います。

中部支部

支部長 牛込 まり(25回)

昨年度も三回コンサートを開催いたしました。ふれっしゅは7名の出演でしたが、華やかでレベルの高いコンサートとなりました。

秋のコンサートはFグループアンサンブル、ピアソノ、大橋多美子先生のソロのプログラムでした。アンサンブルもピアノソロもなかなかの難曲でしたが、お客様から



はお褒めの言葉をいただきました。大橋先生はさすがです。

ジュニアコンサートはクリスマス開催が定着し、お客様が大勢来てくださいました。今年も、ふれっしゅも秋のコンサートも大学から先生をお招きします。多くの方にフェリスを知っていただくチャンスだと思っております。なお、11月22日にアンサンブルがフェリスホールで歌います。今はそれに向けて練習中です。

関西支部

支部長 桐山 恵子(33回)

2013年6月、京都市エクシブ京都八瀬離宮にて、総会を開催いたしました。岡山、大阪、京都、滋賀から8名の参加をいただき、一緒に校歌、賛美歌を斉唱して礼拝をまもりまして会食となりました。

人数が少ないながらも、終始和気あいあいとおしゃべりを楽しみ、八瀬の自然に連れて和やかな一時を過ごすことができました。前回までは、出席者によるミニコンサートを催しておりましたが、今回は礼拝と会食のみになりました。

今年の総会は11月12日に京都で開催される「オールフェリス関西支部総会」とご一緒させていただくことになりました。関西にお住まいの会員様におかれましては、ぜひお気軽に足をお運びいただき、交流を深めたいと存じます。支部が広域にわたるため、毎回出席いただける人数が少ないのですが、大勢の同窓の皆様とお会いし、相互の親睦と、母校の発展に貢献することがで

きればと願っております。

九州・山口支部

支部長 安波 裕子(24回)

2013年8月、合同発表会とフレッシュコンサート(若い音楽家の夕べ)の企画を始めました。11月、母校フェリスホールの募金コンサートにお誘い頂きヴォーカルアンサンブル九州が参加をいたしました。

2014年1月(福岡音楽の花束コンサートVol.14)を大学の先生方の紹介演奏や、初めての男声コーラス(コーラアカデミー)との共演もあり、女声合唱、混声合唱共に大盛況で終わることが出来ました。

訪問演奏も二箇所伺い、支部の活動も定着しつつあります。昨年はアジアと母校で演奏会、今年はドイツで演奏会を企画しています。私たちはキリスト教の学校出身者ですので、欧州の教会などでの献歌も致します。フェリスを知って頂き同窓生の益々の活躍を期待し、同窓会が少しでもお手伝い出来ますよう心がけております。



フェリス音楽教室

子どもたちとともに59年

大人向けレッスン受講生募集中

毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>
045-212-2396

<緑園教室>
045-813-1070

http://www.ferrismusicinst.org

Fグループ2013年度決算報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)

(収入の部) (単位:円)

項目	決算額
終身会費	3,510,000
総会費	30,500
研修会費	372,000
ティータイム会費	58,000
ジョイント会費	176,000
宛名シール	14,140
雑収入	77,151
クリスマスコンサート	53,000
小計	4,290,791
前年度繰越金	2,083,965
収入の部合計	6,374,756

(支出の部) (単位:円)

項目	決算額
(1) 運営費	1,371,926
会議費	2,068
印刷費	60,511
通信費	127,176
交際費	612,780
事務費	32,154
備品費	29,286
出張費	0
交通費	18,800
学年幹事会費	415,680
特別委員会	57,471
	16,000
(2) 活動費	2,393,324
総会関係費	542,410
研修会関係費	291,290
ティータイム関係費	103,175
会報関係費	577,140
ジョイント関係費	131,167
リサイクル後援費	112,000
支部関係費	550,240
慶弔関係費	85,902
(3) 諸会費	370,000
中高・大学同窓会	70,000
維持協力会	300,000
(4) 積立金	460,000
名簿積立金	0
積立金	300,000
山手の丘再販積立	160,000
(5) 予備費	0
支出合計	4,595,250
剰余金	1,779,506
支出の部合計	6,374,756

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。 2014年2月21日

Fグループ 会計監査 柴田美和子 佐々木淑子

from once a student

卒業生だより

綿引 さやか(58回)

大学を卒業して5年。今も尚先生や大学のスタッフの方達は変わらず私達生徒のことを温かく見守ってくださっています。「自分の夢の始まりはここだった」と言える場所が、ここフェリス学院大学であることを私は誇りに思います。

卒業後、ミュージカルの勉強の為ニューヨークへ渡り、2013年には長年の夢であった「レ・ミゼラブル」エポニーヌ役として出演を叶えることが出来、現在は国内・海外でミュージカルの活動を続けさせていただいております。今の私が、ミュージカルへの夢を諦めずに進んで来られたのも、フェリスと出会ったからです。フェリスの卒業生として胸を張ってこれからも選んだ道を突き進んでまいります。

心からの感謝を込めて。



「プロファイル」
ミュージカル女優
主な出演作品
「レ・ミゼラブル」
エポニーヌ役
「サウンドオブミュージック」リースル役
「赤毛のアン」アン役・ダイアナ役
韓国ミュージカル
「ON AIR 夜間飛行」アヤ役
オフロードウェイミュージカル
「Ordinary Days」ダイブ役
8月「赤毛のアン」ダイアナ役 出演予定

合同発表会のお知らせ

Fグループでは「山手の丘合同発表会」を企画いたしました。来春3月28日(土)フェリスホールで開催いたします。

Fグループ会員の生徒さんでしたら、どなたでもご参加いただけます。生徒さんの発表の場として、ご活用いただければ幸いです。

皆様のご参加をお待ちしています。

募金コンサート

11月22日(土)フェリスホールにて、卒業後スイスで活躍するピアニスト4名と中部支部クラスによる募金コンサートを開催いたします。

皆様のご来聴をお待ちしています。



新役員紹介

- 常任A 藤原 善子 (27回)
- 企画 湯口めぐみ (43回)
- 小清水桃子 (55回)
- 事務局 金子 明子 (43回)

大学へ寄付についてのご報告

- フェリスホール張出舞台修繕費として、¥1,000,000を寄付いたしました。
- 募金コンサートより¥597,000を音楽学部に寄付いたしました。フェリスホールのパイオルガン調整とマイク修理等に使用されました。
- Fグループ催しのでの募金箱等より、学生支援基金へ¥78,141を寄付いたしました。
- 御協力ありがとうございました。

Fグループ事務局(木曜日10時~17時)

- 住所、電話、姓など変更をお知らせください。
- 慶弔(同窓生、先生)をご一報ください。
- 山手6号館602教室の貸し出し、宛名ラベルの印刷、演奏会の後援を行っております。
- 詳しくは事務局までお問い合わせください。
- 電話・FAX(045)681-6740
- 住所〒231-8651
- 横浜市中区山手町68
- Email fgroup@feris.ac.jp

Fグループのホームページ & Facebook 随時更新中!



http://fgroup-hp.org/

Fグループ会報担当

- 米田 悦子(35回)
- 白波瀬早百合(36回)

同窓会支部だより

東京支部

今年もこのページをお借りして東京支部の活動を紹介させていただきます。

総会は一〇月に例年通り浜松町東京會館で行われました。学院からは星野事務局長がご出席くださり、フェリス女学院の現状、今後の計画等を伺うことができました。東京オリンピックの二〇二〇年はフェリスにとっても創立一五〇周年という大きな節目の年、その準備も着々と進んでいる様です。午後の講演は大学文学部教授、近藤存志先生が「心に響くイギリス絵画」と題してラファエル前派と一九世紀イギリスの画家たちについてお話下さいました。画像を見ながらの興味深い講義にすっかり引き込まれたひとときでした。

十一月の読書会は宮坂先生が昨年しばらく滞在なさった中国での大学事情や町、教会の様子などを写真を持参でお話下さいました。

一月の新春歌舞伎は初めての新歌舞伎座ということで、一〇〇名以上の方がおいで下さり、こけら落とし公演を満喫しました。

三月末には恒例となりましたアルカディア市ヶ谷でのお花見ランチ、桜は少し早過ぎましたが楽しいおしゃべりの花が咲きました。今年一〇月二日の総会では、午後の公演でピアノとチェロの演奏をお楽しみいただきました。皆様どうぞお気軽にご参加下さいませ。

支部長 多賀 礼子

関西支部

関西支部同窓会は例年通り、11月の第2水曜日、11月13日、お天気に恵れ、神戸異人館に通じる坂にある、中華菜館東天閣で開催しました。会場は、一二



〇年前に建築された異人館(ビショップ邸)で、横浜山手の丘にも似た地形にフェリスの坂道を歩いた日々を懐しむ友もいました。総会は、心静かに礼拝から始まりまし

た。長期に渡り支部長として同窓会をまとめ、お働き頂きました清水操様のご挨拶に続いて、今年度より支部長をお引き受け下さる磯野和美様よりご挨拶がありました。紹興酒も注がれ、円卓を囲んでの会食となり、学年、学部を越えて学生時代にタイムスリップした楽しい一時です。その後、六五〇名余の方々にとのよう同窓会の維持・継続を伝えて行くのか、という問題に参加者それぞれが貴重なご意見を述べられ、今後の課題になりました。最後に、楽しい雰囲気同窓会を常にお世話して頂きまして清水様に感謝しつつ散会となりました。

今年の関西支部同窓会は、11月12日(水)、京都、ザ・ソウドウ・ヒガシヤマで開催致します。高台寺・八坂の塔近くにある日本画家の居宅跡にある素敵なおトリエで、会食を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

幹事 榎屋 恵美子 山田 道子

西南支部

五月三〇日ホテル日航福岡にて二〇一四年度西南支部同窓会総会を開催いたしました。秋岡学長をお招きし、「キダーさんの讃美歌」という題で、ご講演を、また大学の近況をお話しして頂きました。

礼拝は同窓生のサークル「ペルリリーズ」のハンドベルの演奏で始まり、石橋彰子さん(音楽科卒)にお願いしました。

秋岡先生は機材もご持参くださりキダーさんの書簡などもスライドでみせてくださいました。キダーさんの指導のもと当時の子供たちは英語で讃美歌を歌ったり、讃美歌を日本語訳にする難しさのお話で音楽史にまつわる大変興味深いお話でした。ピアノも弾いてくださり当時の讃美歌を英語で全員で歌いました。

この度は、童謡歌手として活躍なさっている大先輩大庭照子さんも出席なさいました。乾杯をお願いしましたところ、後期高齢者とおっしゃりつつパワーが会場に満ち、音頭をとってくださいました。食後には「ふるさとを歌いましょう」と、全員で歌い、楽しい時間が過ぎて行きました。

分科会も交流の場となり和みました。今年一回の同窓会ですので一人でも多くの参加を心より願っています。今回山口、熊本、鹿児島からも参加してくださいました。Parisの西南支部ですので皆和気藹々としております。

是非おでかけください。お待ちしております。

支部長 菊竹 美枝

フェリス白菊会より

変わらぬお交わりを感謝いたします。

中高は2期工事として昨年夏から新体育館の建築に着手し、この夏完成をまえに、引き続き2号館立て替え工事に取っかかりかけております。山手の丘の上、狭い校地の中での新築、立て替えですので、工事中の教育環境の確保には先生方も頭を抱えておられます。

2号館完成後にはフェリス白菊会のお部屋も準備していただける予定ですが、今は5号館3階のかつての音楽科のレッスン室が事務所となっております。工事中の同窓会活動は、本部事務、大学、同窓会Fグループ、りべるの皆様のご協力をいただき、大学山手校舎の教室と家政科記念館を使用できるように配慮していただき、今までと変わらぬ活動を続けることが出来ています。ありがとうございます。あと一年余り、よろしく申し上げます。

フェリス白菊会 会長 衛藤 怜子



新体育館外観(完成予想図)

©(株)竹中工務店

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Yoshiko Amemiya(1969J041)
923 Casanueva Place, Stanford, CA. 94305, USA
TEL. 650-857-9334 FAX. 650-857-9334
E-MAIL ayoshiko@hotmail.com

2013年度フェリス女学院
中高・大学同窓会 会計報告

(2013年4月1日～2014年3月31日) (単位円)

前年度繰越金(2013年4月1日)		1,007,681
収入	同窓会連絡会 維持費	280,000
	白菊会、りてら、りべるて、Fグループ 各@ ¥70,000×4	
	利息 2013年8月17日	87
	利息 2014年2月22日	102
小 計		280,189
収入合計		1,287,870
支出	支部総会お祝い金	40,000
	東京、関西支部 各@ ¥20,000×2	
	送料	550
	雑費(お祝い金封)	453
クリスマス礼拝経費(振込手数料込み)		72,361
支出合計		113,364
次年度繰越金		¥1,174,506

以上の通りご報告いたします。

2014年4月1日 会計 小倉由紀子(りべるて)

クリスマス礼拝のご案内



《日 時》

2014年12月13日(土)

午前11:00～

《場 所》

カイパー記念講堂

《説教者》

学院長 大塩 武

クリスマス礼拝(2013年)献金先

献金総額	231,472円
●日本ユニセフ協会	57,868円
●日本キリスト教海外医療協力会	57,868円
●難民を助ける会	57,868円
●社会福祉法人日本医療伝道会	57,868円

大学事務部より

日頃同窓会の皆様には、大学をお支えいただき有難うございます。

さて、大学から、三三三ご報告いたします。まず、山手キャンパスの施設改修結果についてです。

同窓会のご協力でカフェテラスを営業している山手六号館第一別館の改修工事が五月末に完了しました。歴史的建造物の復元という制約の中で、横浜市からの補助金をいただきながら工事を進めましたが、工事の過程で建物の傷みが予想以上に広範囲に及び、改修に時間を要したため、当初の工事期間より大幅に延びる結果となりました。先日の同窓会総会の折に見学に訪れた方もいらしたと思いますが、外壁を創建当時の外観に復元したためグリーン系に統一され、内装にも手を加えて素敵な空間となりました。

これにより、六号館第一別館は、一階のカフェテラスが学生の憩いの場としてより充実するとともに、同窓生の活動の拠点としても広くご利用いただけるようになったのではと期待しています。

次に、同窓会費の徴収方法の変更についてです。毎年の同窓会費の徴収率が低く、会の活動の多くが同窓会費の追徴作業に割かれているため、実質的な活動の広がりには手が回らないという問題の対策も協議してきましたが、二〇一五年度入学生から、学納金と一緒に口座振替にて徴収する方法に変更することで準備を始めました。徴収時期は入学時ではなく、標準的な卒業のセメスター(第八セメスター)とする予定です。運

用の詳細はこれから詰めますが、これにより同窓会活動が活性化することを期待します。ただし、今回は「りてら」についてのみ試行する予定です。

最後は、この三年間この場をお借りしてご支援をお願いさせていただきました、本学の東日本震災被災学生への奨学金基金についてです。これまでに同窓会からのご寄付も含めて、総額八、九八六、六〇七円を基金に充当することが出来ました。この金額は、基金の目標額の七八%に相当します。今年度は、最終的に受給対象者は三名となりましたが、基金の目標額に対しては、未だ約一八〇万円の不足となっています。したがって、二〇一四年度についても、学内において、あらためて教職員への寄付の公募を行ったところ です。

つきましては、学生への給付最終年度となりますが、今年度もこの場をお借りして引き続きのご協力をお願い申し上げます。なお、一昨年度から、この基金へのご寄付は所得税の寄付控除の対象となりましたので、ご寄付いただける場合は、ご面倒でも大学にご連絡いただき、所定の申込書によりお手続きをお願い申し上げます。

ご寄付についての問い合わせは、大学総務課(電話・045-812-8211(代表) FAX:045-812-8822)にて承ります。

今年度も、三同窓会のご発展並びに会員皆様のご健勝とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

サークル紹介

ギリシア哲学会

講師 岡野昌雄先生
日時 第二火曜日13時半～15時
連絡先 光 恵子(S49)
045-893-2012

聖書を学ぶ会

お話し 岡野昌雄先生
日時 第二木曜日10時半～12時
連絡先 杉浦昌子(S26)
045-335-1105

世界史講座

講師 棟居 洋先生
日時 第三木曜日10時半～12時
連絡先 数原安子(S48)
045-433-5699

キリスト教美術散歩

講師 衛藤良恭先生
日時 第二火曜日13時半～15時
連絡先 杉野展子(S54)
同窓会室

英語読書会

指導 吉野洋子(S35)
日時 第三水曜日10時半～12時
連絡先 高橋邑后(S34)
044-755-2379

合唱団 杏の実

指導 三森杏実(S47)
日時 第四土曜日12時～15時
連絡先 高田真理(S57)
045-561-8545

※中高二期工事のため場所については責任者もしくはフェリス白菊会にお問い合わせ下さい。
045-641-5200

2014年度音楽学部コンサートのご案内

- ◆11月4日(火)室内楽の愉しみ 19:00開演
神奈川県民ホール・小ホール 入場無料
[出演]学内オーディション合格者
- ◆11月24日(月・祝)オーケストラ協演の夕べ 15:00開演
フェリスホール 入場無料
[出演]ソリスト:学内オーディション合格者 指揮:鷹羽弘晃
オーケストラ:フェリス室内管弦楽団
- ◆12月5日(金)フェリス管弦アンサンブル定期演奏会 19:00開演
フェリスホール 入場無料
[出演]フェリス管弦アンサンブル
ソリスト:学内オーディション合格者 指揮:飯吉高
- ◆12月23日(火・祝)フェリス女学院「メサイア」演奏会 16:00開演
フェリスホール 一般¥2,000
[出演]指揮:伊藤翔 ソリスト:Sop. 西由起子
Alt. 牧野真由美 Ten. 蔵田雅之 Bas. 土屋広次郎
合唱:フェリス女学院大学音楽学部合唱団
オーケストラ:フェリス室内管弦楽団
[曲目]G.F.ヘンデル:オラトリオ「メサイア」Ferris ver.
- ◆2月25日(水)音のグルメ ア・ラ・カルト 詳細未定
フェリスホール
- ◆3月13日(金)卒業記念演奏会 詳細未定
フェリスホール

お問い合わせ:音楽学部演奏委員会室 045-895-1566

Fグループ演奏会のお知らせ

- ◆9月15日(月祝)ジョイント・コンサート
ピアノ、声楽、ヴァイオリン、合唱によるコンサート
フェリスホール 15:00開演 ¥1,000
 - ◆10月17日(金)研修会
ピアノ指導のポイント-ピアノデュオ(2台ピアノ)曲を中心に--
講師 久保浩先生(本学名誉教授)
フェリスホール 15:00開演 ¥2,000
 - ◆11月22日(土)音楽学部のための募金コンサート
中田喜直「霧と話した」ドビュッシー「喜びの島」「ピアノトリオ」
ラフマニノフ「楽興の時」ベートーヴェン「クロイツェル」他
フェリスホール 15:00開演 ¥2,500
- お問い合わせ:Fグループ事務局 Tel & Fax 045-681-6740

永眠者(お届けのあった方)

元理事長 中島 省吾先生 二〇一三・一一・二四	大学名誉教授 片岡 信二先生 二〇一四・四・二二	朝倉 蒼生先生 二〇一三・九・三	りてら 森本 洋子姉(64E) 一九九七	鈴木美智子姉(65E) 二〇一〇	大島 典子姉(69E) 二〇一〇	平井 千尋姉(84J) 二〇一三・二・〇九	小久江 伶子姉(55E) 二〇一〇・二・〇九	藤平 純子姉(85J) 二〇一〇・二・〇九	柴山 直子姉(50E) 二〇一〇・四・二四	小野田 綾子姉 二〇一〇・二・二四	りべるて 山口レイ子姉(D50) 二〇〇九・三・一一	大野 清子姉(D41) 二〇〇九・三・一一	大野 りつ子姉(D25) 二〇〇九・三・一一	大野 清子姉(D41) 二〇〇九・三・一一	鶴崎まゆ美姉(D49) 二〇一〇・二・二五	小岩井 昌江姉(D39) 二〇一〇・二・二五	岸本 宜子姉(D33) 二〇一〇・二・二五	北条 喜久代姉(D46) 二〇一〇・二・二五	足立 寿美子姉(D41) 二〇一〇・二・二五	宇美 睦子姉(D38) 二〇一〇・二・二五	川野 栄子姉(D41) 二〇一〇・二・二五	霜越 光代姉(D57) 二〇一〇・二・二五	竹中 保子姉(D26) 二〇一〇・二・二五	Fグループ 野木 森知子姉(D52) 二〇〇八・二・二〇	松浦 由紀姉(D30) 二〇〇八・二・二〇	坪月 聡子姉(D12) 二〇〇七・一・一八	望川 鶴子姉(D15) 二〇〇七・一・一八	吉川 慶子姉(D20) 二〇〇七・一・一八	岩崎 寛子姉(D27) 二〇〇五・二・二九	渡辺 正子姉(D19) 二〇〇五・二・二九	佐々木 真帆姉(M43) 二〇〇四・六・一八
-------------------------------	--------------------------------	---------------------	----------------------------	---------------------	---------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	----------------------	----------------------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------

大学祭

FERRIS FESTIVAL 2014

テーマ

“with a twinkle in our eyes
〜共に輝く〜”

開催日時:11月2日(日)、3日(月)

(両日とも11時～17時)

開催場所:緑園キャンパス

資料室からのお願い

- フェリス女学院百五十年資料集◆第2集
- ◆「近代女子教育 新学制までの軌跡」が発行されました。ご希望の方は資料室まで。
- 短期大学・大学の歴史や学生生活に関する資料を収集しています。どんなものでも結構です。是非ご寄贈ください。
- フェリス女学院資料室

電話:045-662-4411

mail:shinyo@ferris.ac.jp

編集後記

盛夏の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。いよいよ夏休みが始まりました。世の中が急速に変わりつつある中で、山手は懐かさを残しております。今年も会報をお届け出来る幸せを感じております。どうぞ明るい明日がありますように。ご意見お待ちしております。

フェリス女学院大学同窓会会報

二〇一四年八月発行
担当:家政科同窓会りべるて
りてら 〇四五(六六)〇七五〇
〇四五(八一)二八六九二
Fグループ 〇四五(六八)二六七四〇

